

JAMSTEC LIBRARY COMMUNICATION



7月のセミナーのテーマは“福島第一原子力発電事故と海”です。No.84
私たちにとって身近で現実的なテーマですね。

『ナージャ希望の村
チェルノブイリ、いのちの大地』

本橋成一 文・写真 / 学習研究社 刊

ベラルーシの女の子ナージャは、チェルノブイリ原発事故で被ばくしたドウチチ村に住んでいました。

村の人々は政府から引っ越すように命令され、ナージャの家族は避難先の町とドウチチ村を往復しながら畑の世話をし、ジャガイモやリンゴを収穫する生活を始めました。

原発事故によって変わった生活と、未だ美しいままの村について、幼い子がどう感じたかが描かれています。(O)

テーマに関連する初級から上級のおすすめ本を紹介します。
JAMSTEC図書館で借りることができます。



『図解 知っておきたい!!
放射能と原子力』
(図書館には所蔵しています)

橋本久義, 熊丸由布治 監修 / 総合図書 刊

福島第一原子力発電所事故が起きて以来、身近な脅威となった放射線。でも漠然とただ怖い、という人も多かったはず。

この本では放射能を正しく理解するために放射線や原子力発電の基本を分かりやすく解説しています。

・「水を煮沸すれば放射性物質はなくなるのか？」
・「ビールを飲めば放射線対策になる？」

Q&A ではこんな疑問も一気に解決!! (T)



『水圏の放射能汚染
福島の水産業復興をめざして』

黒倉寿 編 / 恒星社厚生閣 刊

2011年の原発事故は、福島の水産業に壊滅的な打撃を与えました。

あれから4年の歳月を経た今、海洋と海洋生物の現在と今後について、経年のデータを基礎に、シミュレーションで明らかにした本書。

10名の科学者による、科学的な立場から復興のための情報を提供してくれる良書です。(N)

7月20日は海の日

海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う

20年前の1995年に初めて制定された「海の日」。

現在、7月の第3月曜日の祝日ですね。

海の日と呼ばれる前の7月20日は“海の記念日”と呼ばれていました。明治時代に明治天皇が東北地方を巡航した際、それまでは軍艦で巡航するのが一般的でしたが、このときは初めて“明治丸”という汽船で巡航しました。これを記念して横浜に帰港した7月20日が、海の記念日として制定されたのです。
☆この時の明治丸は東京海洋大学に保存されています。



夏休みの自由研究の参考になる本も展示しています。
ぜひ図書館へお越しください。





第190回地球情報館公開セミナー 参考文献一覧

開催日時: 平成27年7月18日 13:30~15:00

「福島第一原子力発電所事故と海」

講師: 熊本 雄一郎 (地球環境観測研究開発センター
全球海洋化学・物理研究グループ)



講師推薦の参考文献 <専門書>

書名	著者名	出版社名	備考
1 Fukushima Accident Radioactivity Impact on the Environment	Pavel P. Povinec, Katsumi Hirose, Michio Aoyama	Elsevier	★講師コメント「英文ですが、海洋汚染に関する記述が豊富です」
2 原発事故環境汚染 福島第一原発事故の地球科学的側面	中島映至 [ほか]	東京大学出版	★講師コメント「日本の各分野の研究者達によって執筆された環境放射能汚染に関する専門書です」
3 水圏の放射能汚染 福島の水産業復興をめざして	黒倉寿 編	恒星社厚生閣	★講師コメント「海洋生物の放射能汚染に関する知見がまとめられています」 ★新着図書 (裏面)Library Communication No.84で紹介しています

<雑誌記事>

記事名	掲載雑誌名・巻号・ページ	備考
1 災厄福島原発1000日ドキュメント	Newton 2014年4月号 p.18-103	●雑誌のため、館内で閲覧ください ★講師コメント「図表を使ってわかりやすく原発事故を説明しています」
2 検証! 福島第一原発事故 放射性物質の実際と科学者たちの活動の記録	別冊化学 2012	★講師コメント「現場での実際の計測、測定の様子も紹介されています」 ★新着雑誌
3 水産環境における放射性物質の汚染と影響	海洋と生物 第36巻3号 p263-306, 2014	★講師コメント「原発事故から3年の間に得られた水産環境における放射能汚染がまとめられています」

<児童書>

書名	著者名	出版社名	備考
1 図解 知っておきたい!! 放射能と原子力	橋本久義, 熊丸由布治 監修	総合図書	★講師コメント「図表が多く、わかり易く説明されています」 (裏面)Library Communication No.84で紹介しています
2 原子力のことがわかる本—原子爆弾から原子力発電まで	館野淳 監修	数研出版	★講師コメント「イラスト、マンガもあり、小学生高学年の方でも理解できるように書かれています」
3 ナージャ希望の村—チェルノブイリ、いのちの大地	本橋成一 文・写真	学習研究社	★講師コメント「1986年のチェルノブイリ原発事故のお話です」 (裏面)Library Communication No.84で紹介しています

テーマ関連資料リスト: 今回は原発・地震・海洋汚染に関する資料を集めました。このほかにも図書館2Fに多数展示しています。どうぞご来館ください!

<一般書>

書名	著者名	出版社名	備考
1 福島原発事故、渾身の調査報道(プロメテウスの罫:5)	朝日新聞特別報道部	学研パブリッシング	★新着図書 主に海洋汚染についての記載があります。
2 知っておきたい 放射能の基礎知識	齋藤勝裕	ソフトバンククリエイティブ	
3 地震・停電・放射能 みんなで生き抜く防災術	小学館防災チーム 編	小学館	

<雑誌記事>

記事名	掲載雑誌名・巻号・ページ	備考
正しく知って、考えよう 福島原発で起きていること	子供の科学 2011年7月号, p12-21	●雑誌のため、館内で閲覧ください

<児童書>

書名	著者名	出版社名	備考
海はなぜよごれてしまうのか?—海洋汚染のはなし—	トニー・ヘアー 文, 細谷晶 訳	偕成社	

上記の資料は2015年8月第3土曜日の前日まで横浜研究所地球情報館2F図書館にて展示しております

(図書館の開館時間 平日10:00~17:00・公開セミナー開催の第3土曜日10:00~16:00)

お問い合わせ: 海洋研究開発機構 研究推進部 研究推進第2課 横浜図書館 045-778-5476 library@jamstec.go.jp